

## 平成 31 年度事業計画

### 1. 施設で使用するパソコン設備の更新について

現在施設で使用しているパソコンの基本ソフトがウィンドウズ7でその基本ソフトのサポートが2020年1月で終了となるため、パソコンの安全性が確保できなくなります。そのためウィンドウズ10の基本ソフトを搭載したパソコンの整備を図ります。

整備するパソコンの台数 介護報酬請求関係21台、事務員用9台、レーザープリンター7台の整備費用として761万5千円を計上します。

### 2. ノーリフティングケアの実践について

ノーリフティングケアとは、介護する側・される側双方において安全で安心な、持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケアであり、働き方を変えて、職員と利用者双方にとって安全なケア現場にするための手法です。

職員にとっては、身体の間違った使い方を無くし、利用者の状態に合わせて福祉機器や用具を有効に活用し取り組むことで、無理な姿勢や力の使い方が改善され、腰痛を予防することができます。

香川県老人福祉施設協議会でもノーリフティングケアの推進を図ることを重点施策とすることから詫間福祉会でも積極的に取り入れ実践することとします。

### 3. 収益事業としての草刈り事業について

高齢者の一人暮らしの人が増えていて田畑の管理も困難になっています。

そこで収益事業として自走式草刈機を購入し高齢者世帯を対象に草刈り事業を実施します。そのためのリモコン式自走草刈機の購入費用として130万円を予算計上します。

#### 4. 部署別事業計画及び事業目標

##### 特別養護老人ホームたくま荘

- (1) 年間入所率 95%以上、ショートステイ利用率 80%を目標とする。
- (2) インフルエンザ予防に努め感染者を出さないように努力します。

##### 地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

- (1) 年間入居率 95%以上を目指します。
- (2) 業務の効率化と業務改善の実行

##### たくま荘デイサービスセンター

- (1) 年間平均 30名以上（1日あたり）の利用者の確保
- (2) 安全なサービスの提供

##### 大浜デイサービスセンター

- (1) 年間平均 21.5名以上（1日あたり）の利用者の確保
- (2) 車両事故、介護事故ゼロを目指します。

##### ケアハウスたくま

- (1) 平均入居率 49人の利用者の確保
- (2) 入居者の体調管理の徹底
- (3) 家族との連携強化

##### 居宅介護支援事業所たくま荘

- (1) 毎月の利用者総数目標 220名

##### 訪問介護ステーション

- (1) 1月の利用件数目標 260件
- (2) ケアマネージャー・ケアハウス職員との連携を密にする。

##### 厨房

- (1) 安全安心な食事の提供に努めます。

#### 5. 介護職員の能力向上について

介護職員の能力向上を目指して部署ごとに計画した研修計画に基づき月 1 回の職場研修を実施する。